



2024-25年度 RI会長
ステファニー A. アーチック



No.3561 8月20日(火)

● 本日の卓話

「会員増強について」

国際ロータリー第2640地区 会員増強委員長

末吉 亜矢 さん

● 次週の卓話

「ガバナー公式訪問」

国際ロータリー第2640地区

ガバナー 野村 壮吾 さん

● 先週の例会記録

- ロータリーソング 奉仕の理想
- ビジュア紹介
ゲスト 国際ロータリー第2640地区 3分区分
ガバナー補佐 柏原康文さん
- 出席報告 (会員数76名、免除会員1名)
本日出席(8/6) 57名 75.00%
- メイキャップ 和東へ2名、南へ2名、
中へ1名、地区へ1名
- S. A. A. 野井和重さん、松井良樹さん、
(ニコニコ箱) 野志幸生さん、村田弘至さん、
坂東信幸さん、岩西智宏さん、
垣本英作さん、依岡善明さん、森下展行さん、
和中美喜夫さん、秦 崇さん、豊田英三さん、
笹本昌克さん、親睦・ソング委員会一同

本日合計 ¥64,000

今年度累計額 ¥303,000

- (財団寄付献金箱) 野井和重さん、松井良樹さん、
野志幸生さん、村田弘至さん、
中野智一さん、紀 俊崇さん
- (米山奨学会献金箱) 野井和重さん、松井良樹さん、
福地達明さん
- (青少年育成奨励金) 野井和重さん、松井良樹さん、
野志幸生さん

● 会長あいさつ

会長 野井 和重



パリオリンピックが開催されていますが、みなさま楽しんでいませんか。日本国の活躍もさることながら、審判の裁定や運営のミス等で色々と批判や選手に対する誹謗中傷も絶えません。私の性格上一昔前ならば目を三角にして怒りまくっていたことと思いますが、還暦を迎えた今は「ああこれはオリンピックというお祭りなんだ」と横目に見ることができるようになってきています。それは決して良い事であるとは思いませんが、ダイバーシティーな昨今、これらは呑みこんでいかなくてはならないのでしょうか。

しかしながらメダルの獲得数については目を見張るものがあり、和歌山県出身者も頑張っています。そして何を言っても選手層の若い事、ワールドベースボールクラシックでも思いましたが主力選手が20歳そこそこ。日本もすごい時代になってきています。昭和の根性時代にクラブ活動をした私にはさみしい話でもありますが、殴る蹴るにシゴキもしないし、本当に今の指導者はすごいんだ!と思います。

8月 会員増強・新クラブ結成推進月間

(Membership and New Club Development Month)

「第3回クラブ協議会」開催!

例会終了後～ ガバナー補佐をお迎えして



「第2回理事会」開催!

2024年8月6日(火) 18:30～



そしてきっと「ダメ出し」よりも「褒める」が優先するんだらうなとも感じます。これはロータリークラブにも言えることだと思います。世界の喫緊の課題は「若い新会員」の獲得であるのは紛れもない事実。私自身もきっと何気なしに若い会員さまに「ダメ出し」をしているのではないのかな?と考えます。今月は「会員増強・新クラブ結成推進月間」であります。我がクラブも「若い新会員」獲得に向け、既存のやり方方法から脱局していかなくてはならない時期に来ているのでは?と考える8月第一例会の朝でありました。今月もよろしく願いいたします。



誕生日お祝い

会長報告

7/28に「クラブ活性化ラーニング」という研修会に参加してまいりました。これは2640地区の会長もしくは会長エレクトに対するもので、課題の通りクラブを活性化させるためのものでありました。「クラブの現状」、「クラブのビジョン」、「ビジョンの現実に向けて」という3セッションで熱い議論が交わされました。結果は会長挨拶にも述べましたがやはり「若い新会員の獲得」にどのクラブも苦勞をされていました。就任あいさつのときにも述べましたが、「変えてはならない事」、「変えた方が望ましい事」、「変えなくてはならない事」に真正面から取り組み、新会員の獲得に向けた新たな取り組みをしていきたいと思っています。

ロータリー財団 認証

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (6) 井手幸男 会員
 ポール・ハリス・フェロー 福地達明 会員
 ポール・ハリス・フェロー 紀俊崇 会員



福地達明 会員



紀俊崇 会員

幹事報告

- 例会変更のお知らせ (和歌山東RC、和歌山南RC、和歌山東南RC、有田RC、有田2000RC、粉河RC、高野山RC)
- 地区大会記録誌 (DVD付) 配布
- ガバナー月信2024.07号 配布
- ガバナー月信2024.08号 各テーブル
- SNS活用について
- 訃報 和歌山東南RC釜中会員 弔電と野井会長参列 (7/22通夜式、7/23告別式)
- 13:45~クラブ協議会 (8/27ガバナー公式訪問) 18:30~第2回理事会
- 回覧物1点 (ロータリーマガジン)

委員会報告

親睦・ソング委員会
 坂東信幸 委員長

第1回さんか会開催のご案内

日時 8月27日(火) 18:30~
 場所 キッチン だるま



ご挨拶

国際ロータリー第2640地区
 3分区 ガバナー補佐
 柏原康文 さん



卓話

【第115回ロータリー国際大会参加報告】

パストガバナー
 榎畑直尚 会員



今年、5月25日から29日まで、シンガポールでロータリー国際大会が開催されました。当クラブからも、川畑会長をはじめ、会員とご家族合わせて11人が参加致しました。

今回の大会の登録者数は、14,666人。日本は米国や台湾を押さえて、2,516人と最大の登録者数を記録しました。

2023-24年度ゴードン・マッキナリー会長のテーマは、「世界に希望を生み出そう」でした。また、弟さんが自殺をされた経験から「会長イニシアチブ」に「メンタルヘルス」を掲げられていたことから、本会議では忠実にテーマ、イニシアチブに沿ってプレゼンテーションが行われていました。

私が特に印象に残ったのは、13才の時に頭部に銃弾を受けて以降、顔面と体の右側に麻痺が残り、若くして人生を諦めかけたアルマザン氏の体験談でした。家族離散や言語にも障害が残り、生きる気力さえ失いかけた彼でしたが、その後、見事に立ち直り、今では若者に夢を失わないように立派な講演活動を続けています。実は、彼のプレゼンテーションの冒頭に紹介されたのが「金継ぎ」。バラバラになった陶片を金で継ぐ技法。「私はかつて壊れた。壊れてしまった経験があるから、今の私は美しいのだ」と、語る彼の力強い講演に会場は割れんばかりの拍手を送っていました。

2024-25年度ステファニー・アーチェック会長のテーマは、「ロータリーのマジック」。ドミニカ共和国で浄水器の設置活動に携わったときにロータリーのマジックを目にしました。汚い水がフィルターに入り、反対側から透明な水が出てくるのを、二人の少年が見ていました。「少年の一人が私の袖をつかんで、『もう一度魔法を見せて』と言ったのです」。そのようなインスピレーションを得て、ロータリーのマジックをもっともっと世界の為に役立てて行こうではないかということだそうですが、閉会本会議では、すでに完全に次年度モード。野井会長、頑張ってくださいね!

【新会員卓話】

竹村浩和 会員

(野村証券株式会社 和歌山支店 支店長)



自宅は宝塚で、家族は妻と、娘3人の5人です。趣味は、トライアスロン、マラソン、登山です。職歴としては、2002年4月に野村証券に入社し東京を皮切りに、京都、北海道、東北、マレーシア、兵庫、福井で勤務してきました。

和歌山県の特徴は資産が豊富な法人の数が多くことです。GDP比の数においては、日本有数です。一方で、100億円以上の上場企業数は福井で10社あるのに対して、紀陽銀行、鳥精機、オークワの3社で少ないです。時価総額は福井銀行が400億円、紀陽銀行は1,100億ですから、和歌山県ALLでは金融業で収益をあげられているといえます。

株価ですが、月曜日に日経平均が4,450円で12%の下落になりました。一日で2割下落したブラックマンデーと共通する点があるため、その要因を分析したレポートが今後の株価を示唆します。レポートの内容としては、株価の下落はファンダメンタル要因でなく、心理的、テクニカル要因によるものだというものでした。資産運用においては、本質的価値を下回る価格であれば、投資タイミングとして大変よいと思います。